

原子力防災に関する取組について町から報告を受け、 今年度委員会の方向性を議論しました

令和7年度 第1回檜葉町原子力施設監視委員会 開催報告

令和7年8月26日(火)、今年度1回目の檜葉町原子力施設監視委員会を開催しました。

当日は、**新委員の委嘱**を行ったほか、次回以降に確認・検討する**福島第一・第二原子力発電所（以下、「第一原発」「第二原発」）**の論点や住民への情報発信方法について議論しました。

ここでは、これらのうち主な内容についてお知らせします。



新委員委嘱の様子

*町ホームページ（<https://www.town.naraha.lg.jp/life/cat317/cat362/009536.html>）にて、当日の配布資料・議事概要をご覧ください。

◆委員会について

- 当委員会では、福島第一・第二原発の廃炉に向けた作業等が安全に行われていることを定期的に確認しています。
- 今年度より、元檜葉町教育委員会教育長の青木氏を新たな委員として委嘱しました。引き続き、廃炉に関する情報などを住民の皆様にはわかりやすくお伝えしていきます。
- 今回は、今年度の委員会からの情報発信方法について、以下の2点を決定しました。
 - ✓ホームページ上への「開催報告」の掲載
 - ✓住民を対象に、原子力についての質問に答える「出前授業」の実施 など

檜葉町原子力施設監視委員会 委員一覧

（敬称略、五十音順）



青木 洋

元 檜葉町教育委員会教育長
【専門等】住民目線のリスク
コミュニケーション



植頭 康裕

(国研)日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部
本部長代理
【専門等】放射線防護、安全管理



大越 実（副委員長）

(公社)日本アイソトープ協会
常務理事
【専門等】放射性廃棄物処理



岡嶋 成晃（委員長）

元 (国研)日本原子力研究開発機構
【専門等】原子力工学



原 猛也

(公財)海洋生物環境研究所 フェロー
【専門等】水産資源学

◆原子力防災対策に関する町からの報告

原子力防災資機材の配備先の見直し

- 榑葉町防災倉庫が令和 7 年 3 月に完成しました。
北地区と南地区に 1 つずつ設置しています。
 - ・ 北地区：榑葉町総合グラウンド駐車場内
 - ・ 南地区：榑葉町多機能拠点内
- 防災倉庫の完成に伴い、人口比などをもとに資機材の
配備数を見直し、再配備を行いました。
- 委員会当日は、委員が両倉庫を視察しました。

【委員会の見解】

- ✓ 榑葉町が用意している資機材も含め、それぞれの
防災倉庫および町役場に何の資機材が用意されて
いるのかを明記したリストを用意すべきである。
- ✓ 災害時の職員の動きについてはマニュアルを作ると
良い。
- ✓ 安定ヨウ素剤については、いざという時に服用の
対象となる町民に対し素早く配布できる体制を
とっていただきたい。



防災倉庫位置図

出典：国土地理院ウェブサイト
(<https://maps.gsi.go.jp/#15/37.260517/141.002812/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m>)
地理院地図（国土電子 WEB）を基に作成



北地区防災倉庫 内観



視察の様子

榑葉町原子力防災広域避難計画の修正

- 町では、原子力災害時における広域避難（町域を超える広域的な避難）などについて定めた
「榑葉町原子力災害広域避難計画」を平成 26 年 6 月に策定しました。その後、他計画の改
定や訓練等での検証などを踏まえ、随時見直しを行っています。
- 令和 7 年 3 月には、主に以下の内容を修正しました。

〈主な修正点〉

- ・ 会津美里町との協議により、避難中継所※を「会津美里町複合文化施設」に変更
- ・ 現状に合わせ、避難先施設の名称を変更

※避難中継所：避難者が避難所に行く前に経由する集合場所

- 「榑葉町原子力災害広域避難計画」は、町ホームページ（下記 URL）にてご覧いただけます。
計画掲載ページ：<https://www.town.naraha.lg.jp/life/cat317/cat362/009318.html>